

週刊大貫のり夫

市政ファイル No.440



日本共産党横浜市会議員大貫のり夫議会報告

発行日：2014年6月18日(水)

事務所：〒227-0061 横浜市青葉区桜台29-6

歩道や生活道路の改善を望む方が38.7%

日本共産党市議団の市民アンケート結果より

日本共産党横浜市議団が5月から実施している市民アンケートに6500を超える回答が寄せられています。そのうちの2000通についての集計結果の一部をご報告します。

生活に満足45%、不満37%

今の生活に満足しているかどうかの設問に対して、「満足、まあ満足」が44.8%、「不満、やや不満」が37.4%でした。横浜市が実施した昨年度の市民意識調査（無作為抽出でのアンケート）では「満足、まあ満

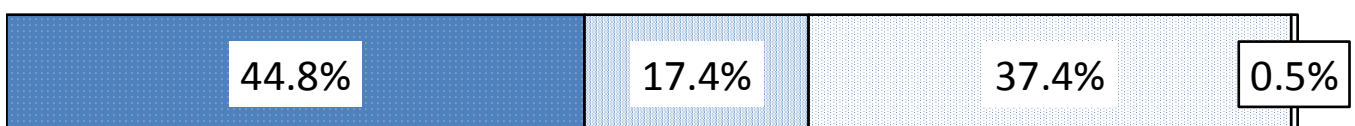
足」が70.2%、「不満、やや不満」が13.8%であることから、生活に不満のある方から多く回答が寄せられていることがわかりました。

36%が地域の改善要望を記入
安心・安全のまちづくりについての要望では、歩道や生活道路の整備が一番多く、次いで街灯・防犯灯と続いています。

地域で改善してほしいことやお困りごとについての自由記入欄には、36%の方が記入して（2面に続く）

問 今の生活に満足しているほうですか。（ひとつ選択）

■ 満足、まあ満足 □ どちらともいえない □ 不満、やや不満 □ わからない



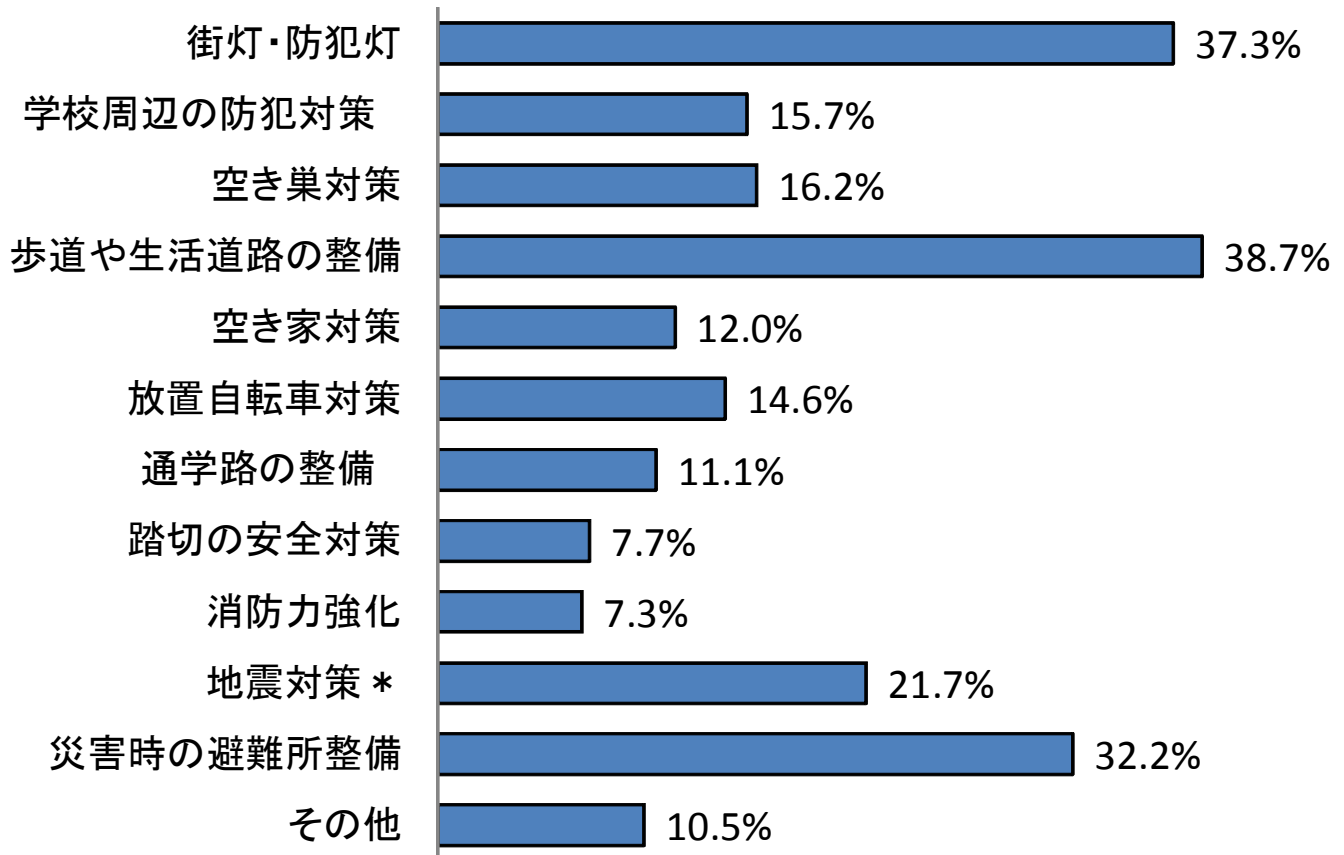
無料法律相談

7月3日、17日

第1、3木曜
午後7時から

予約制（大貫へ）
090-5311-1879

問 安心・安全のまちづくりについて、特に充実してほしいことは何ですか。
(3つまで選択)



(1面より) いました。また、11%の方は地図も書いてあります。書かれている内容としては、道幅が狭い、歩道が狭いあるいはない、横断歩道がない、街灯が少なく暗い、歩道の凸凹が多い、信号機の設置や改善、見通しが悪いのでカーブミラーをつけてほしいなど、いずれも危険なので早く改善してほしいという要求が多く見られました。

3番目に多かったのが、災害時の避難所整備と家屋倒壊・延焼防止などの地震対策です。

横浜市では、市立小中学校が地域防災拠点として広域避難場所に指定されていますが、これらの周知徹底とともに、避難所そのものの整備や備品の充実が必要です。

改善に尽力します

日本共産党市議団は今後、場所が特定されているなど具体的な要望については調査を行い、市や区に改善を要望していきます。また、アンケート結果を予算要望や議会での質問に生かし、改善に向けて力をそそぎます。

シリーズ『あおば子育て事情』(156)

川崎の中学校給食

江口 寛

5月27日の川崎市教育委員会で、「市立中学校完全給食実施方針（素案）」が承認され、川崎市の中学校給食が16年度実現に向けて動き出しています。

方針（素案）の評価できる点は、相模原市などで導入されている希望製のランチボックス（弁当）式を採らず、「給食を生きた教材として活用できる」原則全員喫食を基本としているところです。また、食器も弁当箱やプレート型ではなく、品目ごとのセパレート（分離）型を基本とする、当たり前と言えば当たりの方針です。

問題点は実施方式で、請願などで保護者が要望してきた、自校調理方

式・親子方式（調理場がある学校から配送）は採らず、センター方式・民設民営方式を基本

LUNCH TIME!!

に検討するとしたところです。

ただ、福田市長も「ほとんどの中学校で（調理場のため校庭や教室がつぶされ）教育活動の妨げになり、自校方式は事実上困難。だが、可能性があるところは検討してもいい。」と発言しており、自校方式の可能性のある3中学校の名前も挙がっています。今後、小学校の調理室で調理し中学校に配送する親子方式を含めた可能性の追求が求められます。

いずれにしても、川崎市の中学校完全給食は実現するでしょう。残るは横浜市だけです。

林市長さん！「保護者の方がつくる家庭弁当にはよさがある」なんて言ってる時代じゃないでしょう。

久しぶりの谷本川

18日、朝5時に起きて妻と一緒に谷本川を歩きました。アンチ・エイジング。健康でゆっくりと老いるためには、いくら忙しくても歩かなくてはと改めて思い、久しぶりに30分程度ですが、河岸を歩きました。とても気持ちがよかったです。

集団的自衛権の先にある徴兵制

防衛大学関係者らしき方からのハガキ

「集団的自衛権の先にある徴兵制について」と題のついたハガキが6月9日、日本共産党横浜北東地区委員会に届きました。ハガキは匿名です。内容からは防衛大学関係者のようです。

以前、しんぶん赤旗日曜版にも自衛官のインタビューが載っていました。「自分たちは、国民を守るために自衛隊に入った。専守防衛だ。海外で戦争をするためではない」という内容です。

安倍首相は、憲法9条の解釈をこれまでの歴代政府と180度変えて、集団的自衛権行使の名の下で、自衛隊を海外で戦う軍隊にしようとしているのです。絶対に解釈改憲を許してはなりません。

前略 集団的自衛権の先にある徴兵制について
現役の大生です。既に任官拒否を決めている者がいる。少年工科大学に行かせている親御さんの中にも、戦闘開始となればすぐ除隊せよという人もいます。入学した動機が東日本大震災により、親の収入が激減し、学費払えないからだ。尚且つ、家に仕送りをしている者もいる。また、災害救助がしたくて入隊した者も多い。現役の学生や隊員の中にも戦地へは行きたくないという者がいるのだから、いよいよ戦闘開始となった時に隊員が足りなくなれば徴兵することになる。安倍総理も国会議員や官僚のほとんどが、自分は徴兵されることは絶対には思っていないのだらう。自分の子や孫を戦場に送りたいと思う国民は一人もいない筈だ。もっと声を上げてほしい



ミジソコの独り言 13日に封切りされた映画「ノア 約束の舟」がいきなり国内映画ランキング2位に。人間同士が殺し合うむごさが描かれているが、21世紀の現代でも人間はちっとも進歩していないのか。安倍首相にも観てもらいたい！一方、ランキング1位の「アナと雪の女王」は人の暖かい心に胸打たれる物語だ。(M)